



党都議団が一貫して要求

東京中で

## 中学3年生までの医療費 無料へ

### 知事「実現へ準備」と答弁

19日の都議会本会議で、日本共産党は中学3年生までの医療費無料化を求め、築地市場移転、新銀行東京、オリンピックなど石原知事のトップダウンですすめている事業の破綻やムダづかいを迫りました。

中学3年生までの医療費無料化では「来年度実施に向け、ただちに具体化すべきだ」との求めに、石原都知事は「今後実現にむけて準備を進めていく」と答えました。

私は、2年前の都議選で、医療費無料化を公約にかかげ、質問や申し入れでくり返し取り上げ、昨年9月の議会では条例案を提案、今年3月には予算の組み替えを提案するなど、一貫して実施を求めてきました。

すでに世田谷など22の区部で無料化が広がるなか、都知事選で「裕福な家庭を除き、都が負担する」と、石原知事が公約するところまで迫ってきました。

しかし、実施している区市町村では財政負担が大きく、対象年齢はバラバラです。都が中学3年生までの制度をつくり、財政負担をおこなえば、東京のどの町の子どもも公平に安心して医療にかかります。準備を急がせようではありませんか。



### なんとかして！ 開かずの踏み切り



25日、区内で「開かずの踏み切り解消大会」が開かれ、町会、商店会のみなさんなど多数が参加しました。区内の鉄道で、朝夕の混雑時に40分以上も開かない踏み切りは、京王線で30ヶ所、東急線で4ヶ所あり、交通渋滞、歩行者通行の遮断、事故などを引き起こしています。

私は、鉄道の下に車道と歩道の地下道をつくる、踏み切りの幅を広げるなど利用実態にあわせた解消の計画を都に求めています。

◀京王線下高井戸駅前の踏切で、電車の通過を待つ人々